

II-9

資料 1

小学校での 一日の生活



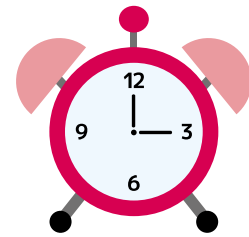
子どもと時間

ついつい「早く、早く」とせかしてしまうことも多いですね。
子どもが自分で時間を意識できるために、どんな応援ができるでしょう？

5歳児は、大きな生活の流れをとらえ、見通しを持って行動を決めていく力をもっています。

就学前の時期として、これまでに獲得した力を基盤にして、子どもが一日の流れを主体的にとらえられているかどうかを見ていきましょう。

一日の大きな流れが自分のものになってくるからこそ、
「もっとあそびたいけれど、ごはんだから片付けよう」
「ごはんを食べたら外で遊びたいから、早く食べよう」
と、周囲に声をかけていくようにもなります。



時間には密度の違いを意識的に作るようにします。幼稚園・保育園等では、設定保育など保育者からの関わりの密度が高い時間と、自由遊びなど自由度の高い時間が一日の中にあることで、自由度の高いほっとする時間に自分たちで遊びを展開したり、仲間関係が広がったりします。

また、子どもが力をつけて色々なことができるようになってくるからこそ、毎日の生活がぶつ切りにならないように、昨日・今日・明日がつながる活動を大切にします。

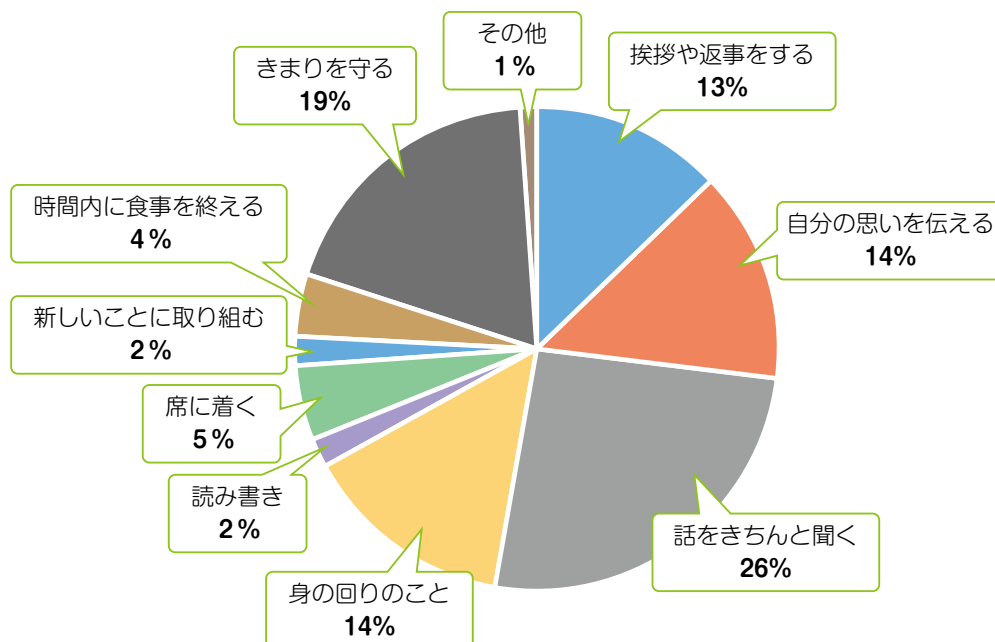
さらに、少し遠い目標に向かって、遊びや生活を作り、工夫していけるようになるのが5歳児です。毎日の生活に、子ども達が期待の心を持って過ごせるよう配慮するとよいでしょう。

小学校の先生による、 小学校入学までに身に付けてほしい資質

Q 小学校入学時までに、家庭、保育園・幼稚園・認定こども園で、子どもに身に付けさせておいてほしいことは何ですか。3つまでお答えください。

- ① 挨拶や返事をしっかりすることができること。
- ② 自分のしたいことやして欲しいことなどを、きちんと伝えることができること。
- ③ 先生や友だちの話を、きちんと聞くことができること。
- ④ 着替えや持ち物の整頓など、身の回りのことが自分できちんとできること。
- ⑤ ひらがなが読めたり、自分の名前が書けたりすること。
- ⑥ 授業中、席について学習に取り組むことができること。
- ⑦ 意欲的に新しいことに取り組み、吸収しようとする事。
- ⑧ 好き嫌いしないで、一定の時間内に食事を終えることができること。
- ⑨ きまりやルールを守ることができること。
- ⑩ その他

幼児教育段階で身に付けてほしいこと



岡山市を除く26市町村から抽出した公立小学校の校長または教務主任及び第1学年担任133名からの回答より

出典：保幼小接続スタンダード 就学前教育と小学校教育の連携についてのアンケート

(平成27年11月 岡山県教育庁義務教育課)

5歳児・・・就学に向けてのかかわりと配慮

◎ 就学に向けて、早寝早起きの習慣を付け、生活リズムを見直していきましょう。また、食事のマナー、着脱、清潔など生活の仕方の見直しをします。自分のカバンは自分で持つ、ハンカチやティッシュを持ってくるなど、身の回りのことが自発的にできるように働きかけます。

しかし、いずれも表面的な行動が出来ているかどうかを評定するのではなく、そのもとになる発達の力が育っているかどうかを丁寧に見て、援助していきましょう。

◎ 「こうしないと学校には入れない」とか、入学するために否定的な条件を作ってしまうような配慮が必要です。どんな小さなことでも「学校に入ったら、こんなことを勉強するから楽しそうだね」といった、期待を込めた励ましをしたいものです。

◎ 入学に不安を持っている子どもには、気持ちを受けとめ、楽しい面なども具体的に伝えながら、期待感につなげるように援助します。

◎ 言葉で自分の意思を相手に伝えられるよう、生活の中で会話の機会を多くしていきます。



参考図書：田中 真介著「発達がわかれば子どもがみえる」ぎょうせい